



奈良県感染症情報

令和4年 第36週(9月5日～9月11日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	2.97	(1.91)	↑	↑	↑	↘
2	感染性胃腸炎	2.03	(2.09)	→	→	→	→
3	RS ウイルス感染症	2.00	(1.24)	↘	↗	↓	↓
4	ヘルパンギーナ	0.38	(0.32)	→	↑	↓	→
5	突発性発しん	0.26	(0.15)	→	↑	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第36週の新型コロナウイルス新規感染者数は8192名と第35週の10525名より減少していますが依然として多い状況です。引き続き適正な対策をお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

先週に続いて手足口病の報告が北部と中部で増加しています。手足口病の報告数は例年7～8月にピークを迎えますが、今年は9月になっても増加しています。この感染症は、幼児を中心に感染が見られ、感染してから3～5日後に口の中や手足などに水疱性の発疹ができます。治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄され、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している可能性も考えられることから、日頃からのしっかりと手洗いが大切です。

◆ 小児科外来情報 ◆

北部地区(田中小児科医院)

発熱患児のコロナ陽性率は減少している。

RS ウイルスは地域的には減少している。

hMPV の流行が続いていると思われるが、迅速検査キットが入手できないため確定診断に至っていない。

サルモネラ腸炎があった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19陽性者が持続、特に小児で多く子供からの家族内感染も多い。

症状は短期の発熱、時に高熱で重症経過者はなかった。

腹痛、嘔吐例もあるが陰性で感染性腸炎と考えられる例が多かった。

手足口病が流行、今のところ発疹も少ない軽症経過例が多かった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19 陽性者は減少してきている。

また手足口病、アデノウイルス咽頭炎も減少。RS ウイルス、ヒトメタニューモウイルス、ライノウイルスやパラインフルエンザ I 型の流行は続いている。

水痘も散見されているが、胃腸炎の流行はみられていない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 36 週 9 月 5 日 ~ 11 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6		
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	3		
RSウイルス感染症	68 (2.00)	20 (2.22)	18 (2.00)	10 (1.43)	19 (3.17)	1 (0.33)		
咽頭結膜熱	1 (0.03)	1 (0.11)						
A群溶連菌咽頭炎	2 (0.06)		2 (0.22)					
感染性胃腸炎	69 (2.03)	22 (2.44)	11 (1.22)	12 (1.71)	22 (3.67)	2 (0.67)		
水痘	6 (0.18)	2 (0.22)	1 (0.11)			3 (1.00)		
手足口病	101 (2.97)	26 (2.89)	33 (3.67)	5 (0.71)	36 (6.00)	1 (0.33)		
伝染性紅斑								
突発性発しん	9 (0.26)	3 (0.33)	3 (0.33)	1 (0.14)	2 (0.33)			
ヘルパンギーナ	13 (0.38)	1 (0.11)	11 (1.22)		1 (0.17)			
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)			3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1		
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(吉野1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 梅毒6件(奈良市3、中和3) バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件(奈良市1)

❖ 第 36 週のトピックス ❖

◆複数国で報告されているサル痘について(第3報) (国立感染症研究所HP)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/monkeypox-m/2596-cepr/11403-monkeypox-ra-913.html>

◆第37回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 資料(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27963.html

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計		
インフルエンザ	男女																						3	9	
RSウイルス感染症	男女		3	13	11	4	1	2															34	690	
咽頭結膜熱	男女			1																			1	115	
A群溶連菌咽頭炎	男女					1									1								1	92	
感染性胃腸炎	男女	1	2	13	3	2	2	2	1	1	2		3	1	3								36	2492	
水痘	男女		1									2		2	5								3	31	
手足口病	男女		3	24	18	10	2																57	287	
伝染性紅斑	男女																						4	2	
突発性発しん	男女		1	2		1																	4	200	
ヘルパンギーナ	男女		2	3																			5	155	
流行性耳下腺炎	男女			3	3	1	1																8	63	
急性出血性結膜炎	男女																						1	46	
流行性角結膜炎	男女												1				1						2	25	
細菌性髄膜炎	男女																							1	
無菌性髄膜炎	男女																							2	
マイコプラズマ肺炎	男女																							1	
クラミジア肺炎	男女																								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																								

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

